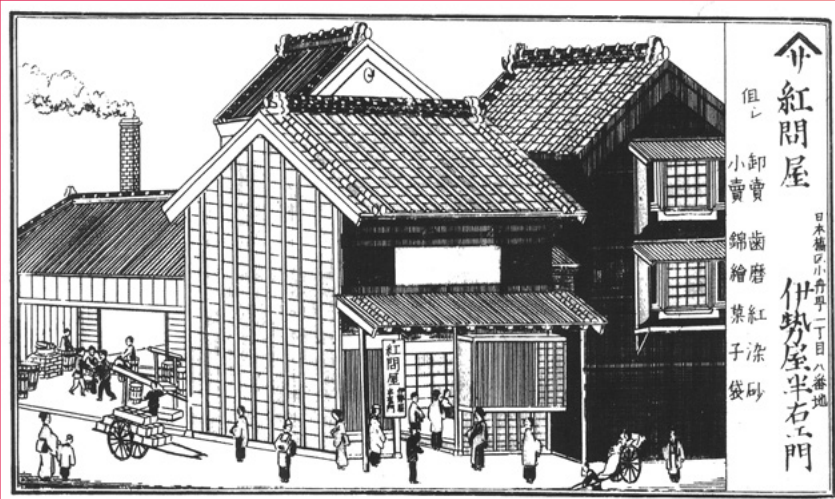


# ミュージアム 通信



『東京商工博覧絵』下 伊勢屋半右衛門・明治18年(1885)・国立国会図書館所蔵  
日本橋区小舟町一丁目に所在した明治期の紅問屋伊勢屋半右衛門(現・伊勢半)の店構え。

## 紅ミュージアムリニューアルオープン！ 「紅」と「化粧」の歴史を発信する専門資料館を目指して

[ご案内]

小町紅商品リニューアルのご案内

紅ミュージアム年間スケジュール(後半)

[エデュケーション・レポート3]

子ども☆ひかりプロジェクト

「ミュージアムキッズ!全国フェア」

## 「紅」と「化粧」の歴史を発信する専門資料館を目指して

**紅ミュージアム再始動**

伊勢半本店紅ミュージアムは、二〇一九年一月二日より名称を「紅ミュージアム」と改称し、リニューアルオープンします。前回の常設展示室リニューアルから丸一〇年の時を経て、この間に新たに収集した資料や研究成果を加え、「紅」と「化粧」の歴史を学び、体感できるミュージアムへと生まれ変わります。

**設立趣旨は揺るがず、内容を充実化**

これまでの紅ミュージアムは小町紅をお試しいただける「サロン」と、紅や江戸時代の化粧の歴史・文化をお伝えする「資料室」の二つのゾーンから構成されていきました。リニューアル後も館内を二つのゾーンに分けるといいうコンセプトは変えず、さらに「紅」を深く知っていただくように工夫を凝らしました。これまでと館の広

さは変わりませんが、公開する内容は既往の三倍を優に超えています。

## 「コミュニケーションルーム」

—見て、触れて、体感する

従来の「サロン」ゾーンは、「コミュニケーションルーム」として紅をさまざまな角度から体感できるエリアとなります。小町紅のお試しづけや販売はもちろんのこと、「ナレッジラボ」では、紅花の色のふしぎを科学的に掘りさげます。紅花の花弁から黄色色素と赤色色素を取り出す簡易的な実験キットも用意していますので、ご興味ある方はぜひお声掛けください（有料・要事前予約）。

## 「常設展示室」

—紅を知り、化粧を学ぶ

「資料室」は「常設展示室」と名称を変え、より詳しく、そしてマニアックに紅と日本の化粧史を学べる展示室になります。

展示室の前半は、絵図

## 紅ミュージアムフロアマップ



### 常設展示室1

- ① 経済と文化の交差点・日本橋小舟町
- ② 紅花産地から需要地へ
- ③ 紅を作る、紅を売る
- ④ 紅と魔除けの習俗

### 常設展示室2

- ⑤ 身体を飾る — 粧いの成り立ち —
- ⑥ 花開く日本の化粧 — 赤・白・黒の様式美 —
- ⑦ 浮世絵にみる化粧
- ⑧ 携行する小さな化粧道具
- ⑨ 化粧、新時代の到来
- ★ テーマ展示

### コミュニケーションルーム

- ⑩ 紅を点す（お試しづけ）～BENI BEAUTY SALON
- ⑪ ミュージアムショップ～BENI GALLERY
- ⑫ 紅花を科学する～KNOWLEDGE LABO
- ⑬ レストスペース

（今号表紙）などを参考にしながら想定復元した紅屋の縮小模型にはじまり、紅花の生産・流通、紅づくりの様子、販売活動、紅にまつわる習俗などを紹介します。

展示室後半は、縄文時代から昭和三〇年代（一九六四）までの粧いの変化と特徴を通史でたどります。主に江戸時代を中心に、化粧道具や浮世絵等の実物資料からリアルな化粧の

様子をご紹介します。また、紅ミュージアムの名に相応しく、明治以降の口紅・頬紅の移りかわりもご覧いただけます。

## 人生百年時代！大人も

子どもも紅ミュージアム

## で生涯学習

このほかに、入口右手のレストスペースでは、タブレット端末を用いた「紅デジタルライブラリー」の閲覧や、館内を隈なく見ると必ず解ける「紅クイズ」などのデジタルコンテンツもご用意しています。

今回のリニューアルを機に、ホームページと小町紅商品もすべて刷新いたしました。そちらもぜひご注目ください。

再開館後も、楽しい企画をいろいろ企画しています。新生紅ミュージアムが皆さまに愛され活用していただけるよう尚一層努めて参ります。ご来館を心よりお待ちしております。

■ 紅を使う、紅を贈る、ライフシーンに合わせて選べる

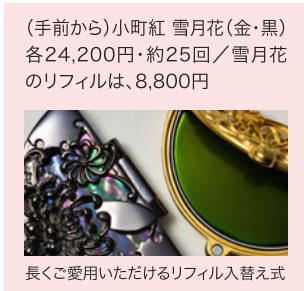
## 小町紅 商品リニューアルのご案内

2019年11月2日(土)発売



(手前から)  
小町紅  
華 16,500円  
約30回、  
桜 15,400円  
約60回、  
藤 17,600円  
約30回

この秋、小町紅シリーズは生まれ変わります。小町紅とは、紅花の花びらから採れる赤色色素のみで作られた化粧料です。丁寧に抽出した紅は、器に刷くと美しい玉虫色に輝きます。江戸時代、玉虫色に輝く紅の製法はそれぞれの紅屋が秘伝中の秘伝として守ってきた技でした。そしてその技は、最後の紅屋となった伊勢半本店により今も大切に受け継がれています。



(手前から)小町紅 雪月花(金・黒)  
各24,200円・約25回/雪月花  
のリフィルは、8,800円

長くご愛用いただけるリフィル入替え式



し、伝統の古き良き趣と生活様式の変化による新しさを融合させた、ライフシーンに合わせて選べる5種7点をご用意しました。

**【伝統のお猪口型と今風の蓋物型】**

お猪口型の「桜」は、日本を象徴する花である桜と流水文をあしらいました。流水文様は、内に刷かれた紅が清涼な水で作った良

質な紅である証として描かれ、江戸時代の女性に大変好まれた文様です。蓋物型の「華」は、平安時代以来の「有職文様」に着想を得て典麗に仕上げました。お誕生や七五三、成人などのハレの日の贈り物にお勧めです。同じく蓋物型の「藤」は、長寿と子孫繁栄の象徴である藤と亀甲文を配し、大人の女性に似合う優雅なデザインにしました。

**【携帯用の「紅板」も新しく】**

江戸時代より工芸品としての価値も高かった「紅板」は、さらにモダンな商品となって登場します。菊に雪と月の意匠で四季折々の美しさを描き出した「雪月花」は、透かしの部分から覗く白蝶貝が神秘的な煌きを演出し、ポーチから取り出すたびに気分を高揚させてくれます。「竹に青海波」と「撫子に麻の葉」は、外出先でのご使用に便利な紙紅板です。軽量で鏡付きなので形式張らずに使用したい方、はじめて紅を楽しみたい方へご用意しました。

江戸時代より工芸品としての価値も高かった「紅板」は、さらにモダンな商品となって登場します。菊に雪と月の意匠で四季折々の美しさを描き出した「雪月花」は、透かしの部分から覗く白蝶貝が神秘的な煌きを演出し、ポーチから取り出すたびに気分を高揚させてくれます。「竹に青海波」と「撫子に麻の葉」は、外出先でのご使用に便利な紙紅板です。軽量で鏡付きなので形式張らずに使用したい方、はじめて紅を楽しみたい方へご用意しました。

質な紅である証として描かれ、江戸時代の女性に大変好まれた文様です。蓋物型の「華」は、平安時代以来の「有職文様」に着想を得て典麗に仕上げました。お誕生や七五三、成人などのハレの日の贈り物にお勧めです。同じく蓋物型の「藤」は、長寿と子孫繁栄の象徴である藤と亀甲文を配し、大人の女性に似合う優雅なデザインにしました。

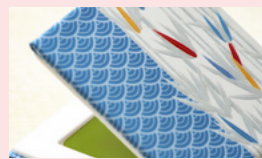
**【携帯用の「紅板」も新しく】**

江戸時代より工芸品としての価値も高かった「紅板」は、さらにモダンな商品となって登場します。菊に雪と月の意匠で四季折々の美しさを描き出した「雪月花」は、透かしの部分から覗く白蝶貝が神秘的な煌きを演出し、ポーチから取り出すたびに気分を高揚させてくれます。「竹に青海波」と「撫子に麻の葉」は、外出先でのご使用に便利な紙紅板です。軽量で鏡付きなので形式張らずに使用したい方、はじめて紅を楽しみたい方へご用意しました。

※写真の説明文は、商品名・税込価格・使用回数(目安)1回の使用を5ミリ角程とした場合の順に記載しています。

染料ならではの軽いつけ心地の紅は、一人ひとりの発色が異なり個性的な美しさを引き出してくれます。美術品のごとき器は、美しさを愛でる心を養ってくれます。小さな愛らしい小町紅は、装いにエレガンスさを与え人生を豊かに彩ります。

(手前から)小町紅 撫子に麻の葉、竹に青海波各9,900円・約20回



約5×5cm、11グラム、鏡付きで携帯に便利



## 生粋の「紅」をクリエイティブに楽しむ

伊勢半本店は、近年、小町紅を口紅に限定してお勧めしてきました。しかし、江戸時代の女性たちは、「紅」を口紅のみではなく、頬紅や目弾き(アイライン、アイシャドウ)、コントロールカラーとしての化粧下地などに使用していました。自然な血色感を演出し、肌なじみの良い紅。使う方それぞれの色になる「紅」は、個性そのものです。今回、リニューアルを機に「紅」の原点に立ち返ります。リップに、チークに、アイメイクに、「小町紅」ひとつでメイクが無限に広がります。現代でもクリエイティブに楽しめる「マルチユース化粧料」として小町紅をぜひお楽しみください。

## ◆紅ミュージアム年間スケジュール(後半)

2019年11月6日(水)10:00 申込み受付開始 ※お問い合わせフォームでの申込みは11月7日(木)10:00から受付

申込み方法:電話(03-5467-3735)・来館・伊勢半本店HPお問い合わせフォーム

★のイベントの詳細は、伊勢半本店HPをご覧ください。

	展示会・講座・イベント	休館日
2019年11月	2(土) 常設展リニューアルオープン 2(土)～ テーマ展示「紅ミュージアム かんざしコレクション」開催[～3/29(日)] 2(土) ★【リニューアルオープン記念】 小町紅メイクアップ体験 メイク:岡田いずみ氏(ヘア&メイクアップアーティスト/小町紅メイクブック総合監修) ①14:30～ ②15:00～ ③15:30～ ④16:00～ 各回1名(要事前申込み、先着順)・参加費無料 ※ご見学のみも可能です(申込み不要) 3(日) ★【リニューアルオープン記念】 小町紅メイクアップ体験 4(月・祝) メイク:千木良歩美氏(ヘア&メイクアップアーティスト) 両日とも①14:30～ ②15:00～ ③15:30～ ④16:00～ 各回1名(要事前申込み、先着順)・参加費無料 ※ご見学のみも可能です(申込み不要) 13(水) 【リニューアルオープン記念】 学芸員による常設展解説 15:00～16:00 定員10名・参加費無料 24(日) 【リニューアルオープン記念】 紅職人による紅刷き実演&常設展ガイドツアー ①10:30～11:30 ②14:00～15:00 定員各回15名・参加費無料	1(金)オープン準備のため、 5(火)振替、11(月)、18(月)、 25(月)
12月	8(日) 「和のパーソナルカラー講座」 ※初参加の方を優先とします 14:00～16:00 講師:吉田雪乃氏(一般社団法人伝統色彩士協会 代表) 定員10名・参加費2,000円	2(月)、9(月)、16(月)、23(月)、 27(金)～31(火)年末のため
2020年1月	25(土) 「江戸の化粧再現講座」～半元服のお化粧～ 14:00～15:30 講師:当館学芸員 定員30名・参加費500円(紅染めの和菓子付き)	1(水・祝)～6(月)年始のため、 14(火)振替、20(月)、27(月)
2月	9(日) 「紅色和菓子でバレンタイン」～御料紅(食紅)で作る季節の和菓子～ 講師:池田功氏(御菓子司 一炉庵店主) ①13:00～14:30 定員8組16名(小学4～6年生とその保護者) 参加費2,500円(和菓子2種×2個製作、保険料込み) ②15:00～16:30 ※初参加の方を優先とします 定員16名(一般)・参加費2,500円(和菓子3種製作、保険料込み) ※材料にヤマイモ(ツクネイモ)を使用します	3(月)、10(月)、17(月)、 25(火)振替
3月	14(土) 体験型キュレーターズトーク「化粧『モノ』語り～ヘアケア編」 14:00～16:00 講師:当館学芸員 定員20名・参加費500円	2(月)、9(月)、16(月)、23(月)、 30(月)

\*都合により、内容の変更が生じる場合がございますので、あらかじめご了承ください。\*臨時休館情報につきましては、当館HPをご確認ください。

※1 事務局:兵庫県立人と自然の博物館内  
 ※2 詳細は「こどもひかりプロジェクト」  
<https://www.kodomohikari.com/>を  
 ご覧ください



2018年9月  
 京都市勧業館「みやこ  
 めっせ」での全国フェア  
 実施風景

エデュケーション  
 レポート  
 3

東日本大震災をきっかけに、ミュージアムの子どもたちを笑顔にしよ  
 うと、二〇一二年、全国の博  
 物館・美術館が集まり「こども  
 ☆ひかりプロジェクト」  
 がスタートしました。

紅ミュージアムは、二〇  
 一六年に仙台で開催され  
 た「ミュージアムキッズ!  
 全国フェア」からの活動  
 に参加しています。

今年は一二月九日(土)・一  
 〇日(日)に「国立淡路青少年  
 交流の家」にて全国フェアが  
 開催されます。紅ミュージア  
 ムもワークショップを出展  
 しますので、お近くの方は、  
 ぜひお越しください!

Since 1825  
 伊勢半本店 紅ミュージアム

●開館時間/10:00～18:00 ●休館日/毎週月曜日(月曜日が祝日または振替休日の場合は、翌日が休館日となります)

東京都港区南青山6-6-20 K's南青山ビル1F TEL:03-5467-3735 東京メトロ銀座線・千代田線・半蔵門線「表参道」下車B1出口より徒歩12分

<https://www.isehanhonten.co.jp>